

区自治協議会提案事業 事業評価書

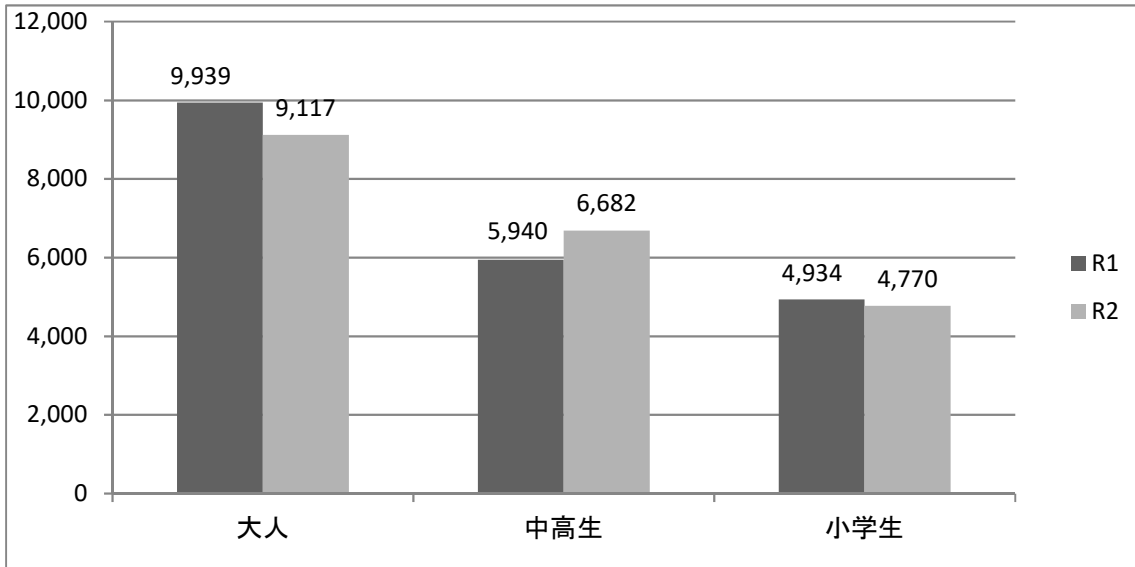
南区自治協議会第1部会

区分	内容
テーマ・事業名	・南区公共交通PR事業 ・南区防犯・防災啓発事業 【事業費予算 1,250千円】
事業目的・概要	【南区公共交通PR事業】 ・南区の区バス・住民バス・乗合タクシーの利用啓発を図り、利用者数増加につなげるため、情報紙などの作成やイベント会場でのPR等を行う。 【南区防犯・防災啓発事業】 ・南区の防犯・防災に係る啓発活動を行い、安心・安全で、住みよいまちづくりにつなげるため、各種啓発グッズ作成や地域を見守る仕組みの検討等を行う。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【南区公共交通PR事業】 ○公共交通にかかるイベント実施 ・12月7日～25日の期間、車内をクリスマス装飾したクリスマスバスを運行。期間中乗車した方にミニカイロをプレゼントした(継続) ※当初、3回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で密を避けるため、春と夏の装飾バスを中止。 ○南区公共交通ガイド、乗合タクシー利用チラシの作成、配布(継続) ○区バス協賛広告の更新(継続) ○医療施設や商業施設内にチラシを設置(21施設)、地域の茶の間で公共交通の取り組みPR(1ヶ所)(継続) 【南区防犯・防災啓発事業】 ○「南区安心・安全みまもり隊」のステッカーを各自治協議会委員に配布し、みまもり活動の実施(継続) ○新小学1年生へ反射材の配布(継続)
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	【南区公共交通PR事業】 ○当初、年3回を予定していたバスの装飾イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により12月実施のクリスマスバスの1回になったが、コロナで離れた利用者が再び区バスに乗るきっかけを作る機会を設けた。利用者数については、大人の利用が減少したものの、小学生の利用は微減にとどまり、中高生の利用は増加するなどコロナ禍の中でも取り組みに対して、一定の効果があった。(利用実績については別紙のとおり) ○利用が伸びている路線について、利用者数をさらに伸ばすため、今後も利便性の向上に向けて取り組んでいく必要がある。 ○区バスに親しみを持ってもらうイベントも大事だが、今後は利用者が直接的に支援されるような事業を行っていくことが必要。 【防犯・防災啓発事業】 ○「南区安心・安全みまもり隊」の活動は、自治協議会委員自ら地域の安心・安全への意識を高めてもらうことにつながっているが、さらに各地域の防犯協会、青少年健全育成協議会、自主防災会などの関係団体と連携して安心・安全に関する機運を盛り上げる必要がある。 ○コロナ禍の中でも各地域が工夫して防災への取り組みを実施したほか、防災士の数も増えているなど、事業を通して防災への意識が高まった。
備考	

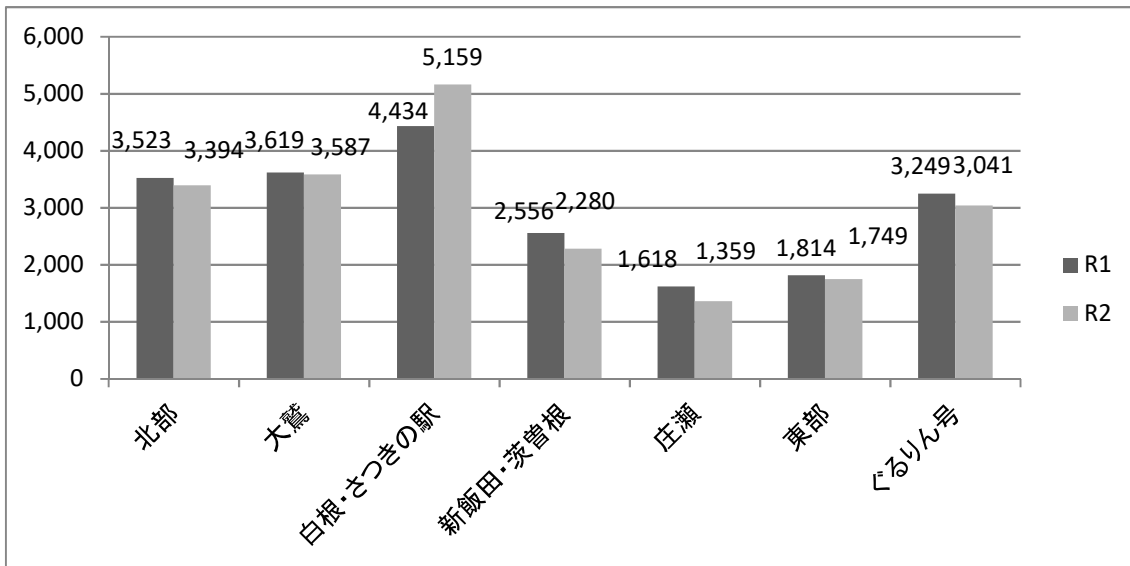
区バス・乗合タクシー利用実績(4～12月)

別紙

●利用者別推移



●路線別利用者推移



●乗合タクシー利用者推移

